

青梅市文化財ニュース

第360号

平成29年10月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町1-684 TEL0428-23-6859）

とみおかまさしげ 富岡光学と富岡正重氏

青梅市小曾木三丁目にある「京セラオプテック株式会社」は、レンズ・光学機器の設計、製造を行う光学機器メーカーとして、世界に広く知られている。現在の社名になったのは平成3年で、それまでは富岡光学株式会社であった。

富岡光学の創業者は、^{とみおかまさしげ}富岡正重氏（1888～1968）である。氏は神奈川県西多摩郡富岡村で、名主であった富岡^{おのさぶろう}斧三郎と^{ぬいこ}縫子の次男として出生した。現在、富岡第一児童遊園になっている場所にあった、富岡村立富岡尋常小学校を卒業した後、しばらくしてから、東京物理学校（現在の東京理科大学）に進学し、大正2年に卒業した。卒業後は陸軍砲兵廠精器製造所工学工場に勤務した後、大正6年に除隊し、日本光学工業（現在のニコン）に就職した。大正13年には、大森区雪ヶ谷に創立された「富岡光学機械製作所」と、荏原区小川町に創立された「富岡光学研究所」に、社長として迎えられた。

昭和7年、富岡光学機械製作所で、高級レンズの設計・製造に成功してからは、陸軍・海軍に納入する光学兵器の製造が、次第に増えていったこともあり、昭和18年には、神奈川県大船に工場を拡張した。量産体制を行うようになったが、戦況が悪化したため昭和19年、それまで畑地であった霞村新町植木外（小作駅の北方にある、都立誠明学園の位置・青梅市新町三丁目72番地）に、工場の大部分を疎開させた。広大な敷地内には南面する7棟の工場が建てられ、中央に3棟、その両側にそれぞれ2棟が建てられた。一方、社長夫人は小曾木村の出身であったため、小曾木農業協同組合の所有で、使用されていなかった織物工場や染色工場を借りて、工場の一部を疎開させ、潜水艦の潜望鏡や零式戦闘機の照準器などで使用する、各種のレンズを製造した。20年5月、雪ヶ谷にあった工場は空襲を受けて全焼した。同年8月、終戦になったため、会社は特別経理会社に指定され、解体・整理された。

昭和24年5月、富岡正重氏は小曾木村において、資本金20万円、従業員15名で、各種カメラのレンズを製造する、「富岡光学機械製造所」を再出発させた。当時、小曾木村は、もちろんのこと、周辺の村々でも就業先がほとんどなかったため、操業再開はとても喜ばれた。操業は順調に発展したため、昭和27年、従業員は200名近くに達した。当時、中学

校を卒業して入社した従業員の初任給は、時給 12 円であった。近くには、社宅も建設された。

社長の富岡正重氏は、優れた技術を図書として後世に残すため、昭和 31 年には山田幸五郎氏と共訳で、フランク・トゥワイマン (F. Twyman) 著の『プリズム及レンズ工作法の研究』を、翌年には中村清二氏と共著で『レンズ収差論』を、いずれも宗高書房から出版した。これらの図書は、国会図書館や母校の東京理科大学には保存されておらず、『プリズム及レンズ工作法の研究』は東京大学工学部図書室に、『レンズ収差論』は東京大学理学部天文学図書館に、それぞれ 1 冊が保存されているだけである。出版と同時に、すべて技術者たちに購入されたのであろう。



富岡正重氏肖像画

昭和 33 年には、安楽寺の旧参道入口に、巨大な石碑を寄進している。

昭和 35 年、日本映画機械 (株) が成立し、取引先であったため、富岡光学も傘下に入った。戦後の経済復興、そして高度経済成長の流れによって会社は次第に拡張し、昭和 43 年 2 月には、社名を「富岡光学株式会社」と変更した。この年の 6 月、創業者の富岡正重氏は、81 歳で他界された。

富岡光学は成長をさらに進め、昭和 49 年には約 600 名の従業員を抱えるまでなり、年間販売額は約 30 億円に達した。しかしながら、直前の昭和 48 年末に発生したオイルショックの影響によって、経営が急激に悪化したため、その後、全体で約 200 名が退職を余儀なくされ、生産現場では大混乱をきたした。

この頃から、企業間の合併や株の持ち合いが活発になり、昭和 58 年、富岡光学の親会社であるヤシカが、京セラグループに吸収合併された。8 年後の平成 3 年、社名が(株)京セラオプテックに変更され、現在に至っている。

富岡正重氏が創業された技術は、社名を変えながらも、世界的なレベルを保って、さらに発展していくことであろう。

なお、インターネットの「有名人ナビ、出身大学編」を開くと、東京理科大学の卒業生の中で、政治・教育、あるいは経済などの業績で著名になった人物の名簿が出る。全 158 名の人物の中で、富岡正重氏は 14 番目に載っている。

(文責 角田清美)